

第2学年1組 国語科学習指導案

平成26年7月10日(木) 第5校時
場 所 2年1組 教室
授業者 教諭 押野 由美子
在籍児童数 男子12名 女子16名 計28名

- 1 単元名 お話を読んで、かんそうを書こう
教材名 「スイミー」

2 本単元の意図

(1) 児童の実態

本学級の児童は、明るく元気で、何事にも進んで取り組もうとしている。生活科で1年生に学校を案内したり、朝顔の種まきを教えたりして、2年生としての自覚が芽生えてきている。みんなの前で発表する時に声が小さい児童もいるが、朝の日直のスピーチや、町たんけんの発表の練習で、声の大きさや姿勢などを意識して発表ができるようになってきた。

「読むこと」については、読書が好きな児童が多く、読書タイムや、ちょっとした時間に読書に進んで取り組んでいる。音読にも毎日取り組み、「ふきのとう」の学習では、役に分かれて好きな場面の音読発表会を行ったが、内容を覚えて、気持ちを込めて音読することができた。また、「たんぼぼのちえ」の学習では、たんぼぼの「ちえ」とその「わけ」を読み取ってきた。

感想をまとめたり、それを交流したりする活動に関しては、1年生の時に「くじらぐも」で登場人物に手紙を書いた。「たぬきの糸車」では好きなところを絵に描いた。2年生の「ふきのとう」で、好きなところやおもしろいと思ったところをノートに書き抜き、わけを書く活動を経験している。また、「黄色いバケツ」では、人物を表す言葉を学習してきている。

本単元では、主人公スイミーの行動に着目し、場面の様子を豊かに想像させながら読ませたい。そして、感想を交流することで、同じ場面でも違う感想があることや、自分と同じ感想を持つ人がいることに気づかせたい。

(2) 育成する言語能力

本単元で育てたい能力は、「C読むこと」の「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」と「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」「オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」である。そこで、「物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと。」という言語活動を設定する。

物語「スイミー」をスイミーの行動に着目しながら読み、心を動かされた場面について感想をまとめていく。そして、感想の交流を通して、同じ場面でも違う感想があることや、自分と同じ感想を持つ人がいることを確認しあう。また、表現の特徴である比喩に気づかせたい。比喩を使うことで情景や様子が生き生きと伝わることを味わわせ、自分の文章にも使えるように指導していきたい。

(3) 教材観

本単元は、「スイミー」という文学的文章と「本はともだち」で構成されている。文学的文章を読み、読書活動につなげる単元である。また、主人公に名前が付いた作品は「スイミー」が初めての経験となる。主人公に名前があることで、児童は主人公と自分を重ね、スイミーの行動や会話に沿って読み進めることができ、物語の展開を無理なく理解できると思われる。スイミーの行動や会話から読み取ったことをもとに、スイミーに言ってあげたいことを書き留め、物語のどの場面から湧き起こってきた感想なのかを考えさせたい。心に抱いた思いを言語化することは、自分自身に向き合うことになるとともに、思いを表現する力を育てることにもつながるので、物語を読み感想を交流するという活動は、日常的な読書活動においても積極的に行わせたい。

3 単元の目標

- (1) 場面に合わせて、主人公の行動や会話に気をつけ、想像を広げながら注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
- (2) 登場人物の行動や会話を整理し、場面の様子を理解している。 (読むこと)
- (3) 文章の中の大事な言葉や文を書きぬき、自分の経験と結びつけて感想を書くことができる。 (読むこと)
- (4) 様子を表す言葉に気付くことができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 研究内容との関連

『自ら課題を見つけ、主体的に学ぶ太陽の子の育成』
～基礎・基本の定着を図り、表現力を高める国語指導の工夫・改善～

目指す児童像

話の中心や相手の意図を理解し、自分の考えをもち、豊かな表現で伝え合うことができる子

視点1 基礎・基本の定着を図る指導の工夫

手立て① 単元を通して付けたい力の明確化

手立て③ 単元の「どこで・どのように」児童に力が付いたのかを見取る評価計画

手立て④ 言語環境の整備

- ・付けたい力を学習指導要領「C読むこと」ウ、エ、オとし、それに合わせた言語活動を設定する。
- ・指導案の中に評価計画をきちんと明記して、それに合わせて評価、指導の改善に取り組む。
- ・「かんそうのことば」を教室に掲示し、朝の会でのスピーチなどで意識して使わせる。

視点2 児童一人ひとりが思いや考えをもつための指導方法の工夫

手立て①	意欲を高める魅力的なゴールと学習計画の設定
手立て②	モデル学習の効果的な活用
手立て③	児童一人ひとりが自分の生活経験と結び付ける活動の設定

- ・児童とともに学習計画を立て、単元全体の見通しをもち、学習の流れを確認しながら学習を進める。
- ・学習のゴールのモデルを提示し、毎時間そのモデルを意識して学習活動をする。
- ・登場人物の行動や会話を読み、自分の生活経験と比べる。

視点 3	伝え合う力を付けるための指導方法の工夫
手立て①	目的意識、相手意識をもち、考えを伝え合う活動や機会の充実

- ・登場人物に言ってあげたいことを、毎時間、みんなで伝え合う。

視点 4	学校生活全体における言語環境の整備
手立て②	読書活動の推進
手立て④	言語環境の整備

- ・単元の学習に合わせて並行読書を行いやすいように、環境を整える。
- ・単元で用いる「かんそうのことば」を教室に掲示し、児童とともに語彙を増やしていく。

5 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	イ 読むこと	ウ 言語についての 知識・理解・技能
「物語を登場人物の行動を中心に想像を広げながら読み、感想を書くという言語活動」を通じた指導 ・学習指導要領との関連 「C 読むこと」の言語活動例 エ 物語や、科学的なことについて書いた本や文章を読んで、感想を書くこと		
① 主人公の行動や会話に注意しながら物語を読み、感想を書こうとしている。 ② いろいろな本を読もうとしている。	①登場人物の行動や会話を整理し、場面の様子を理解している。 ②大事な言葉や文を書き抜いて、感想を書いている。 ③自分の知識や体験を思い出して、書かれていることと比べて感想を書いている。	① 感想を表す言葉を使っている。 ② 様子を表す言葉に気付いている。

6 指導と評価の計画（全8時間扱い）

次	時	おもな学習活動	学習内容	学習活動に即した評価規準と評価方法
第一次	1	<p>○本単元のねらいと活動について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>レオ＝レオニのお話を読んだ感想を、おうちの人に発表しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・レオ＝レオニの作品を読んで感想を書くことを知る。 ・学習計画を立てる。 ・ ・お話「スイミー」の範読を聞く。 ・感想を書き、発表する。 <p>※並行読書を開始する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・感想文の例を提示 ・学習の見通し ・感想の書き方 <ul style="list-style-type: none"> ① 心に残ったところ ② 自分の経験と結びつける ③ 主人公に言ってあげたいこと ・心に残ったところの感想 	<p>題名に関心を持ち、範読を聞いたり全文を読んだりして、感想をもっている。</p> <p>ア－①（観察・ノート）</p>
第二次	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 （本時） ・ 6	<p>○スイミーがどんな魚か紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子やスイミーの行動・会話から、スイミーはどんな魚かを考える。 <p>・どんな様子からそう考えたかを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人物を紹介する言葉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>元気・泳ぎが得意・逃げるのが上手・すばしっこい・ひとりぼっち・がまん強い・元気を取り戻した・頭がいい・かしこい・勇気がある</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しく暮らすスイミー ・ひとりぼっちのスイミー ・元気を取り戻すスイミー ・知恵を絞るスイミー ・大きな魚を追い出したスイミー ・比喩表現 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>～のような ～みたいな</p> </div>	<p>登場人物を紹介している。イー①（発言・ノート）</p> <p>場面の様子や人物の行動・会話から、人物の気持ちを想像して感想を書いている。</p> <p>イー②（発言・ノート）</p> <p>様子を表す言葉に気付いている。</p> <p>ウー②（発言・ノート）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ○スイミーの行動と自分の経験を比べる。 ○スイミーに言ってあげたいことを書く。 ○場面の感想を書く。 ○感想交流する。 ○好きな場面を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物と自分との比較 ・感想の言葉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 楽しかった・おもしろかった・うれしい気持ちになった・ドキドキした・すっきりした・心に残った・残念だった・やってみたくなった </div>	自分との関わりを考えながら、感想文を書いている。 イー③ (発言・ノート)
第三次	7・8	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が選んだ本の感想を書く。 ・レオ＝レオニの作品を読んで感想を発表する。 ・本の題名と表紙の絵の関係を考える。 ・読みたい本を選んで読む。 ・「スイミー」の感想を参考に主人公を紹介する感想を書く。 ・作品を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レオ＝レオニの作品 ・本の題名と本の表紙の絵から話の内容を推察 ・主人公が分かりやすい物語 	本の表紙の題名と絵を見て、興味を持って本を読んでいる。 アー② (観察) 登場人物を紹介している。イー① (発言・ノート) 自分との関わりを考えながら、感想文を書いている。 イー③ (発言・ノート)

7 本時の学習指導 (5 / 8時)

(1) 本時の目標

- 場面の様子やスイミーの行動・会話を読み取り、スイミーの気持ちを想像することができる。
(読むこと)
- スイミーがどんな魚かを考え、感想を書くことができる。
(読むこと)

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導・支援 (○) と評価 (◇) の創意工夫	時間
1 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方の確認 ・知恵を絞る場面 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; width: fit-content;"> 「スイミー」の感想を書こう。 </div>	○前時までの活動を振り返り、同じように読み進めて、人物と自分を比べて考えたことを発表するというを確認する。	2
2 本時の場面を読み、スイミーはどんな魚か発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容 (人物の行動や会話) の読み取り 	○「スイミーは・・・した。」の文型を発見させる。	15

<p>・どんな様子からそう思ったか。</p>	<p>・人物を紹介する言葉</p> <p>泳ぎが上手・元気を取り戻した・頭がいい・かしこい・勇気がある</p> <p>・根拠を明らかにした説明、発表</p> <p>・会話の音読</p>	<p>○言ったことを表す会話文には、「 」がついていることを確かめる。</p> <p>○「言った」「さげんだ」「教えた」をおさえる。</p> <p>◇場面の様子や人物の行動・会話から、スイミーはどんな魚かを考えている。</p> <p style="text-align: right;">【発言】</p> <p>○しっかり音読させることで、スイミーの気持ちを考えさせる。</p> <p>○挿絵を見せ、スイミーの位置を確認させる。</p>	
<p>3 スイミーがしたことと自分の経験を比べて感想を書く。</p> <p>・似ているところ</p> <p>・違うところ</p>	<p>・登場人物と自分との比較</p> <p>・叙述を基にした考え方</p>	<p>○「自分も～」「自分だったら～」など自分の考えや判断を入れるようにさせる。</p> <p>○考えをもつことが難しい児童には、「自分ならばどうするか。」「自分ならばどう思うか。」という声掛けをして考えさせる。</p>	<p>1 5</p>
<p>4 スイミーに言いたいことを書く。</p> <p>・感想を発表する。</p>	<p>・感想の言葉</p> <p>おもしろかった・うれしい気持ちになった・ドキドキした・すっきりした・心に残った</p> <p>・全体での伝え合い</p> <p>・感じ方の違いへの気づき</p>	<p>◇感想を表す言葉を使っている。</p> <p style="text-align: right;">【発言・ノート】</p> <p>○話型を意識させて発表させる。</p>	<p>1 0</p>

<p>5 本時の振り返りをし、次時の活動について確認する。</p>	<p>・本時の振り返り ・次時の学習内容</p>	<p>○本時の自己評価をして学習感想を書かせる。書けた児童数人に感想を発表させる。</p> <p>○読んでいる本から1冊選び、同じように登場人物と自分とを比べて発表することを伝えて、平行読書への意欲を再度高めさせる。</p> <p>○次時は、最後の場面の感想を書くことを伝える。</p>	<p>3</p>
-----------------------------------	------------------------------	---	----------

板書計画

「出てこいよ。みんなで あそぼう。」

「だけど、いつまでもそこにじっとしているわけにはいかないよ。なんとか 考えなくちゃ。」

スイミーは 考えた。
いろいろ 考えた。
うんと 考えた。

わたしだったら

スイミーに

言ってあげたいです。

挿 絵

魚です。

スイミーの感想を書こう

スイミーは、○○○な

備考

<文型>

○○は……な□□です。
それは、——で……
だからです。
わたしだったら、……
……します。
だから、○○に ——
と
言
っ
て
あ
げ
た
い
で
す。

8 実践のまとめ

9 成果と課題

10 指導講評

- 子どもたちの感想が豊かに書かれていて、子どもたちにつけさせたい力がしっかりとついている。
- 感想に定義づけをして、1の場面から指導してきている。身につけさせたい力をしぼって、ゴールを設定している。ゴールを設定する際に子どもたちが意欲的に取り組めるようにすることで、主体的に学ぶことができる。
- 想像を広げて読むためには、友達と考えを交流することが大切。ペア交流では、視点を与えたり、相手を変えたりすることで友達と同じところ、違うところを知り、新しい読み方につながる。
- 振り返りの時間は、今回のように必ず取ってほしい。学んだことの定着をはかることにつながったり、発表では見とれなかった部分を見とったりできる。